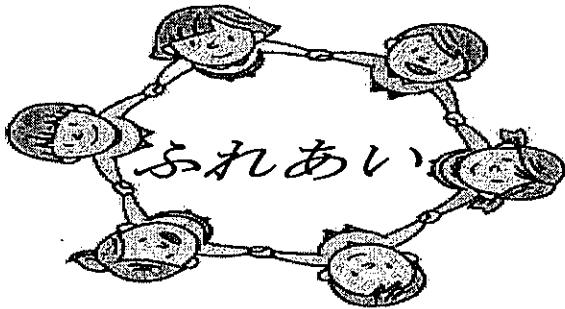




平成28年11月29日

PTA 会員各位



多聞小学校PTA会長 加藤 圭子
成人教育委員長 鈴木雅美

平成28年度 年間テーマ
子育て 全力応援!

第3回 家庭教育学級 講演会の報告

幸せ家族のお片付け・親から始めるラクで楽しいお片付け

朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じる季節となり、二学期も残りひと月を切りました。さて、11月11日に開催されました第3回家庭教育学級では整理収納アドバイザーの橋口真樹子先生をお招きして上記をテーマにご講演いただきました。

講演では、まず「家族が気持ちよく住める家」とは、いつでも完璧に片付いたモデルルームの様な家ではなくて「すぐに片付く仕組み」を備えた家だということを教えていただきました。そして整理収納アドバイザーならではの片付けの極意を4つのポイントにまとめて教えていただきました。

1. 定位置＝使う場所に収納

よく使う場所の近くに収納場所を作ることで片付けの面倒くさを解消

2. 物の量は管理できる量に

整理（処分）は使っているか使っていないか、を判断基準にすると明確

3. 収納法 引き出しと棚を制す

引き出しは仕切る、たてる、棚は手前によく使うものをおいて見やすく

4. あまり片付けに興味の無い子どもにも気分良くやってもらおう関わり方

・片付けルールをわかりやすくシンプルに

・子どもの判断に口をださない

・おもちゃなどの処分をするタイミングは誕生日、クリスマスなど新しいわくわくのあるときを選ぶ

・やってくれたときこそ言葉にする

高校生と小学生のお子さんの育児中の先生のご自宅の写真をたくさん交えてお話いただきました。「ランドセルが長々とねそべり、更に学用品が入れ口から扇子のように広がり」「片付けのはずがいつの間にか寝転んで読書」などの「子育てあるある」に思わず会場から笑いがでる場面もありました。

日々家族の散らかした物の片付けに追われている保護者が深くうなずいてしまう、リアルな子育てに根ざした具体的お話で、聞いた日からすぐ取り入れたいアドバイスがいくつもありません。

また片付けは「生きる力」(=選ぶ力で+思いやりと責任感+続ける力)を育むことであり、片付けの自立は子育ての長期プロジェクトであるという視点から、日々の片付けを通しての子どもとの関わりが、思春期以降の信頼を積み上げるとすることも教えていただきました。

わかりやすいお話で、単なるお片付けにとどまらず、子育てへのヒントもあり、実施後のアンケートでも大変好評でした。

ご参加頂いた保護者の方々からのご感想（アンケートより抜粋）

- ・フレンドリーで笑顔がステキな先生で、わかりやすく楽しい講演はとても勉強になりました。
- ・頭の中も整理していただけたように思います。
- ・さっそく教えていただいたことを実践したいと思います！
- ・クリスマスが来るので、早速子どもと試したいと思います。おもちゃを減らせるか楽しみです。
- ・片付けは選ぶ力と思いやりが育ち、将来子どもの力になるという言葉は心に響きました。
- ・家族に笑顔が増えストレスが減る良い方法を教えていただきました。
- ・専門家である先生の片付け前のリビング風景が我が家と同じだったので親近感がわきました（笑）
- ・子どもの成長とのかかわりに片付けが重要な役割があることがわかり、目からうろこでした
- ・収納の話を通して、子育てのいい話が聞けました。来て本当によかったです。

皆様お忙しい中ご参加ありがとうございました。

【講師略歴】橋口真樹子先生 一般社団法人 親・子の片づけ教育研究所 理事
「家庭内の片づけは片づけやすい仕組みと家族の良好なコミュニケーションが鍵」をモットーに講演会やお片づけサービス、取材協力など、多岐にわたって活動中。